



## 施設名 石見銀山世界遺産センター

### 物件概要

施工場所：島根県大田市  
施工年月：平成 19 年 8 月  
発注者：島根県大田市役所  
施設概要：観光案内所  
工事名：平成 18 年度石見銀山拠点施設  
整備事業ガイダンス棟建設工事

### 仕様

システム：ソフィール  
(土壌微生物膜合併処理浄化槽)  
建物用途：ガイダンス棟、  
展示棟など 1,730 m<sup>2</sup>  
屋外公衆便所  
人 槽：250 人槽  
汚水量：17.2 m<sup>3</sup>/日  
処理水：循環利用  
1次側電源：AC200V



### 施設紹介

石見銀山は、16 世紀から 20 世紀までの約 400 年にわたって採掘されてきた世界有数の鉱山遺産です。自然を破壊せず、環境に配慮した「自然環境と共生した産業遺産」として 2007 年 7 月世界文化遺産に登録されました。

世界遺産センターは、石見銀山遺跡の間歩や街道、港、山城跡、歴史的町並みなど広範囲にわたる同遺跡の全体像や特徴、世界遺産としての価値を来訪者に広く知ってもらうための施設となっています。

世界遺産センターのトイレ汚水はソフィールで処理され、屋内便所のトイレ洗浄水に再利用されています。

年間を通じて高度な処理能力を発揮し、見た目は水道水と区別がつかないほどです。

ソフィールは世界遺産センター以外にも「石見銀山公園駐車場」「大久保間歩」の公衆便所に設置されています。

### 実績写真



一次処理槽、消毒・貯留槽



土壌浸潤槽